

LHC-ALICE 実験 TPC 高度化の為の研究開発と量産準備状況

Saturday 5 December 2015 09:20 (20 minutes)

現在 LHC-ALICE 実験に用いられている TPC は読み出し部に MWPC を採用しており、Gating Grid を用いてドリフト領域に流れ込むイオン（Ion Back Flow: IBF）を抑制しているが、同時にデータ収集レートが制限されている。

2021 年より始まる RUN3 では 50 kHz の重イオン衝突が予定されており、データの連続読み出しを行うために GEM を用いた TPC 高度化の準備が現在進行中である。

本講演では、これまでに行われた TPC 高度化に向けた MPGD の研究開発と GEM-TPC の量産準備状況を報告する。

Author: Mr TERASAKI, Kohei (Center for Nuclear Study, University of Tokyo)

Co-authors: Prof. HAMAGAKI, Hideki (Center for Nuclear Study, School of Science, the University of Tokyo); Dr GUNJI, Taku (Center for Nuclear Study, School of Science, the University of Tokyo)

Presenter: Mr TERASAKI, Kohei (Center for Nuclear Study, University of Tokyo)